

マツダ 46V ソウルレッドクリスタルメタリック

マツダが新型CX-5(2017年2月発売)の新色として設定し、非常に特殊なカラークリヤー仕様である。自動車補修においては超難易度の高い塗色であることから、簡単ではありますが標準的な補修アドバイスを記載いたしますので、ご参照下さい。

◆ 配合情報

ベースカラー配合については、インターネット配合でご確認下さい。

【ブロック塗装編】

塗膜構成

トップコートクリヤー	} 3コート仕様
カラークリヤーベース	
カラーベース(金属調メタリック)	
(下地)中塗り	} 標準的な下地工程
(下地)下塗り	

下塗り/中塗りの塗装仕様はスイフト2Kベースコート、D-1ベースHS、VトップモナークExcellent共通です

工程	要領	ポイント										
1 下塗り	<p>★ 脱脂作業ではAutoワックスクリーナーECO^{※1}を使用</p> <p>【調合】</p> <p>★ AutoD-NexTプライマー^{※2}</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-NexTプライマー主剤</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoD-NexTプライマー硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO^{※3}</td> <td>10~20</td> </tr> </table>	AutoD-NexTプライマー主剤	100	AutoD-NexTプライマー硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20	<p>★ ダメージ部分の旧塗膜剥離および研磨</p> <p>★ 旧塗膜フェザー部作りと足付け研磨および脱脂処理。</p> <p>★ D-NexTプライマー塗布による金属面防錆下塗り処理(強制乾燥 60°C × 10分程度)。プライマー面の平滑研磨と清掃および脱脂処理(プライマー工程は省略可)。</p>				
AutoD-NexTプライマー主剤	100											
AutoD-NexTプライマー硬化剤	25											
AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20											
2 中塗り	<p>【調合】</p> <p>★ AutoSPSライトパテ、ポリパテ^{※2}</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoSPSポリパテ主剤</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoパテ硬化剤 エロー</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-NexTプラサフ^{※2}</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-NexTプラサフ主剤</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO^{※3}</td> <td>10~20</td> </tr> </table>	AutoSPSポリパテ主剤	100	Autoパテ硬化剤 エロー	2	AutoD-NexTプラサフ主剤	100	Autoウレタン硬化剤	20	AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20	<p>★ ダメージ部が深い場合、SPSライトパテ、ポリパテを塗布し、パテ部分の平滑研磨と目馴染しを行う。</p> <p>★ 中塗り塗布前の旧塗膜足付け。</p> <p>★ D-NexTプラサフ塗布による中塗りを行う(強制乾燥 60°C × 15分以上推奨)。</p> <p>★ D-NexTプラサフの平滑研磨と上塗り用足付け処理を行う(推奨は P800 以上の空研ぎもしくは耐水ペーパーで研磨)。</p>
AutoSPSポリパテ主剤	100											
Autoパテ硬化剤 エロー	2											
AutoD-NexTプラサフ主剤	100											
Autoウレタン硬化剤	20											
AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20											

工程	要領	ポイント																		
<p>3</p> <p>カラーベース (メタリックベース①) 色決め</p>	<p>★ 脱脂作業ではAutoワックスクリーナーECOを使用</p> <p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート※4</p> <table border="1" data-bbox="437 378 979 499"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー</td> <td>20~40</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS※4</p> <table border="1" data-bbox="437 539 979 660"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoHS硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>20~40</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent※4</p> <table border="1" data-bbox="437 701 979 822"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>20~40</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	10	Autoウレタンシンナー	20~40	AutoD-1ベースHS	100	AutoHS硬化剤	10	AutoウレタンシンナーECO	20~40	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	20~40	<p>★ 塗装面の清掃と脱脂処理(エアブローしながらタッククロスでゴミ・ホコリを除去する)</p> <p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ 本塗色のD-1ベースHSのカラーベースには必ず、専用硬化剤を計量配合してから塗装を行う。</p> <p>★ メタリックベース①は色決め(隠蔽)です。</p> <p>★ 希釈を通常よりも少なくし、エア圧調整も高くし過ぎず、吐出量も出し過ぎないようにして、出来るだけ塗面に平滑性が出るように隠蔽するまで塗装する。</p> <p>★ スプレーガンの調整例: パターン幅 2 回転開き、吐出量 2 回転開き、エア圧 0.2MPa(2.0kgf/cm²)を目安。</p> <p>★ その後一度、60°C×5~10 分程度の強制乾燥を行い、残っている溶剤を揮発させてから次の工程(メタリックベース②の輝度感調整)へ進めます。</p>
Autoスイフト2K ベースコート	100																			
Autoウレタン硬化剤	10																			
Autoウレタンシンナー	20~40																			
AutoD-1ベースHS	100																			
AutoHS硬化剤	10																			
AutoウレタンシンナーECO	20~40																			
AutoVトップモナークExcellent	100																			
Autoウレタン硬化剤	25																			
AutoウレタンシンナーECO	20~40																			
<p>4</p> <p>カラーベース (メタリックベース②) 輝度調整</p>	<p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート※4</p> <table border="1" data-bbox="437 1267 979 1424"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー※2</td> <td>250~350</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS※4</p> <table border="1" data-bbox="437 1464 979 1621"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>250~350</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent※4</p> <table border="1" data-bbox="437 1662 979 1818"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>250~350</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100	Autoウレタンシンナー※2	250~350	AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	250~350	AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	250~350	<p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ メタリックベース②は輝度(正面の明るさ)調整です。</p> <p>★ 希釈はメタリックベース①よりもかなり多く希釈し、出来るだけ平滑性が出るように丁寧に仕上げる。</p> <p>★ メタリックベース①同様に、エア圧調整は高くし過ぎず、吐出量も出し過ぎないように、ミストコート(スプレーガンを早く動かし、細かい霧状にする)にして、塗りムラが出ないように、できるだけ薄く丁寧に塗り重ねる。</p> <p>★ スプレーガンの調整例: パターン幅 2 回転開き、吐出量 2 回転開き、エア圧 0.15MPa(1.5kgf/cm²)を目安。</p> <p>★ 毎回インターバル(エアブロー)を取りながら試し塗りの色相に合うまで塗り重ねる。</p>						
Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100																			
Autoウレタンシンナー※2	250~350																			
AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100																			
AutoウレタンシンナーECO	250~350																			
AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100																			
AutoウレタンシンナーECO	250~350																			

工程	要領	ポイント																														
5	<p>カラークリヤーベース</p> <p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート※4</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>CC1 配合量に対し 4:1 + スイフト2K 配合量に対し 10:1</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー※2</td> <td>50~70</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS※4</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>CC1 配合量に対し 4:1</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>50~70</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent※5</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>50~70</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1 + スイフト2K 配合量に対し 10:1	Autoウレタンシンナー※2	50~70	AutoD-1ベースHS	100	Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1	AutoウレタンシンナーECO	50~70	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	50~70	<p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ 各カラークリヤーへの硬化剤配合量は、マルチカラークリヤー CC1 キャンディーカラー用の4:1と、各塗料の指定硬化剤量を計量、混合してから塗装する。</p> <p>★ スプレーガンのパターン重ねを広く取り、塗りムラが出ないように丁寧な塗装で仕上げる(艶をあまり出さないように仕上げる)。</p> <p>★ 毎回インターバル(エアブロー)を取りながら試し塗りの色相に合うまで塗り重ねる。</p>												
Autoスイフト2K ベースコート	100																															
Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1 + スイフト2K 配合量に対し 10:1																															
Autoウレタンシンナー※2	50~70																															
AutoD-1ベースHS	100																															
Autoウレタン硬化剤	CC1 配合量に対し 4:1																															
AutoウレタンシンナーECO	50~70																															
AutoVトップモナークExcellent	100																															
Autoウレタン硬化剤	25																															
AutoウレタンシンナーECO	50~70																															
6	<p>トップコートクリヤー</p> <p>【調合】</p> <p>★ Autoプレインクリヤー MX(4:1仕様)※5</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoプレインクリヤー MX</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>0~30</td> </tr> </table> <p>★ Autoプレインクリヤー EX(3:1仕様)※5</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoプレインクリヤー EX</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>10~30</td> </tr> </table> <p>★ Autoプレインクリヤー LG(4:1仕様)※5</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoプレインクリヤー LG</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>10~30</td> </tr> </table> <p>★ Autoプレインクリヤー SF(5:1仕様)※5</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoプレインクリヤー SF</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>10~30</td> </tr> </table> <p>★ Autoプレインクリヤー JT(10:1仕様)※5</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoプレインクリヤー JT</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoHS硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>10~30</td> </tr> </table>	Autoプレインクリヤー MX	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	0~30	Autoプレインクリヤー EX	100	Autoウレタン硬化剤	33	AutoウレタンシンナーECO	10~30	Autoプレインクリヤー LG	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	10~30	Autoプレインクリヤー SF	100	Autoウレタン硬化剤	20	AutoウレタンシンナーECO	10~30	Autoプレインクリヤー JT	100	AutoHS硬化剤	10	AutoウレタンシンナーECO	10~30	<p>★ 各調合クリヤーは、一度に厚塗りをせず、塗面を荒らさない様に確認しながら、均一で丁寧な塗装を行う。</p> <p>★ 各クリヤーでの毎回のインターバルでは、指触乾燥を確認し、2回目まで肉付け、3回目まで肌調整および仕上げを行う様に塗り重ねる。</p> <p>★ その他、DNT自動車補修用の上塗りクリヤーが使用可能です(塗装条件は各クリヤーの仕様に準ずる)。</p>
Autoプレインクリヤー MX	100																															
Autoウレタン硬化剤	25																															
AutoウレタンシンナーECO	0~30																															
Autoプレインクリヤー EX	100																															
Autoウレタン硬化剤	33																															
AutoウレタンシンナーECO	10~30																															
Autoプレインクリヤー LG	100																															
Autoウレタン硬化剤	25																															
AutoウレタンシンナーECO	10~30																															
Autoプレインクリヤー SF	100																															
Autoウレタン硬化剤	20																															
AutoウレタンシンナーECO	10~30																															
Autoプレインクリヤー JT	100																															
AutoHS硬化剤	10																															
AutoウレタンシンナーECO	10~30																															

※1… Autoワックスクリーナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※2… 別紙カタログをご参照下さい。

※3… Autoウレタンシンナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※4… 塗料種別の別紙カタログをご参照下さい。

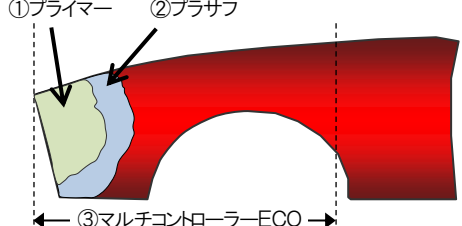
※5… 別紙カタログをご参照下さい。

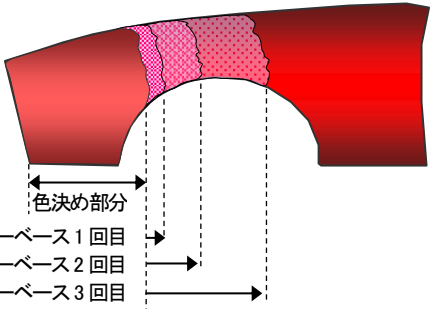
【ボカシ塗装編】

塗膜構成

トップコートクリアー	} ボカシ用工程
カラークリアーベース	
カラーベース(金属調メタリック)	
アンダークリアーベース	} 標準的な下地工程
(下地)中塗り	
(下地)下塗り	

下塗り/中塗りの塗装仕様はスイフト2Kベースコート、D-1ベースHS、VトップモナークExcellent共通です

工程	要領	ポイント
1	下塗り	ブロック塗装を参照
2	中塗り	ブロック塗装を参照
3	カラーベースの ミスト馴染み 前処理	<p>★ 脱脂処理の拭取りが不十分な場合、カラーベース塗装時に吹き跡が出る場合がある。</p> <p>★ カラーベースのミスト馴染み性を上げるため、必ずマルチコントローラーECOをトップコートクリアーのボカシ際の手前まで塗布する(トップコートクリアーを全面塗装する場合は、マルチコントローラーECOを全面塗装可)。</p> <p>【マルチコントローラーECOまでの塗装イメージ】</p> 
4	カラーベース (メタリックベース①) 色決め	<p>★ 塗装面の清掃と脱脂処理(エアブローしながらタッククロスでゴミ・ホコリを除去する)</p> <p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ 本塗色のD-1ベースHSのカラーベースには必ず、専用硬化剤を計量配合してから塗装を行う。</p> <p>★ メタリックベース①は色決め(隠蔽)です。</p> <p>★ 希釈を通常よりも少なくし、エア圧調整も高くし過ぎず、吐出量も出し過ぎないように隠蔽するまで塗装する。</p> <p>★ スプレーガンの調整例: パターン幅 2 回転開き、吐出量 2 回転開き、エア圧 0.2MPa(2.0kgf/cm²)を目安。</p> <p>★ その後一度、60℃×5~10 分程度の強制乾燥を行い、残っている溶剤を揮発させてから次の工程(メタリックベース②の輝度感調整)へ進めます。</p>

工程	要領	ポイント												
5 カラーベース (メタリックベース②) ボカシ際の色決め	<p>★脱脂作業ではAutoワックスクリーナーECO^{※1}を使用</p> <p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート^{※4}</p> <table border="1" data-bbox="435 416 979 573"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー^{※2}</td> <td>70~90</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS^{※4}</p> <table border="1" data-bbox="435 611 979 768"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>70~90</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent^{※4}</p> <table border="1" data-bbox="435 806 979 963"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>70~90</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100	Autoウレタンシンナー ^{※2}	70~90	AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	70~90	AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	70~90	<p>★メタリックベース②はボカシ際の色決めです。</p> <p>★メタリックベース①同様に、エア圧調整は高くし過ぎず、吐出量も出し過ぎないように、ミストコート(スプレーガンを早く動かし、細かい霧状にする)にして、塗りムラが出ないように、薄く丁寧に塗り重ねる。</p> <p>★スプレーガンの調整例:パターン幅 2 回転開き、吐出量 2 回転開き、エア圧 0.15MPa(1.5kgf/cm²)を目安。</p> <p>★毎回インターバル(エアブロー)を取りながら試し塗りの色相に合うまで塗り重ねる。</p> <p>【カラーベースの塗装イメージ】</p>  <p>色決め部分 カラーベース1回目 カラーベース2回目 カラーベース3回目</p>
Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100													
Autoウレタンシンナー ^{※2}	70~90													
AutoD-1ベースHS メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100													
AutoウレタンシンナーECO	70~90													
AutoVトップモナークExcellent メタリックベース①で使用した調合済み塗料	100													
AutoウレタンシンナーECO	70~90													
6 カラーベース (メタリックベース③) 輝度感調整	<p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート^{※4}</p> <table border="1" data-bbox="435 1339 979 1496"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース②で使用した調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー^{※2}</td> <td>200~300</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS^{※4}</p> <table border="1" data-bbox="435 1534 979 1691"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS メタリックベース②で使用した調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>200~300</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent^{※4}</p> <table border="1" data-bbox="435 1729 979 1886"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent メタリックベース③で使用した調合済み塗料</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>200~300</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース②で使用した調合済み塗料	100	Autoウレタンシンナー ^{※2}	200~300	AutoD-1ベースHS メタリックベース②で使用した調合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	200~300	AutoVトップモナークExcellent メタリックベース③で使用した調合済み塗料	100	AutoウレタンシンナーECO	200~300	<p>★メタリックベース③は全体の輝度(正面の明るさ)調整です。</p> <p>★希釈はメタリックベース②よりもかなり多く希釈し、出来るだけ平滑性が出るように丁寧に仕上げる。</p> <p>★メタリックベース①②同様に、エア圧調整は高くし過ぎず、吐出量も出し過ぎないように、ミストコート(スプレーガンを早く動かし、細かい霧状にする)にして、塗りムラが出ないように、薄く丁寧に塗り重ねる。</p> <p>★スプレーガンの調整例:パターン幅 2 回転開き、吐出量 2 回転開き、エア圧 0.15MPa(1.5kgf/cm²)を目安。</p> <p>★毎回インターバル(エアブロー)を取りながら試し塗りの色相に合うまで塗り重ねる。</p>
Autoスイフト2K ベースコート メタリックベース②で使用した調合済み塗料	100													
Autoウレタンシンナー ^{※2}	200~300													
AutoD-1ベースHS メタリックベース②で使用した調合済み塗料	100													
AutoウレタンシンナーECO	200~300													
AutoVトップモナークExcellent メタリックベース③で使用した調合済み塗料	100													
AutoウレタンシンナーECO	200~300													

工程		要領	ポイント	
7	カラークリヤー ベース	【調合】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。 ★ 各カラークリヤーへの硬化剤配合量は、マルチカラークリヤー CC1 キャンディーカラー用の4:1と、各塗料の指定硬化剤量を計量、混合してから塗装する。 ★ スプレーガンのパターン重ねを広く取り、塗りムラが出ないように丁寧な塗装で仕上げる(艶をあまり出さないように仕上げる)。 ★ 毎回インターバル(エアブロー)を取りながら試し塗りの色相に合うまで塗り重ねる。 	
		★ Autoスイフト2K ベースコート※4		
		Autoスイフト2K ベースコート		100
		Autoウレタン硬化剤		CC1 配合量に対し 4:1 + スイフト2K 配合量に対し 10:1
		Autoウレタンシンナー※2		80~100
		★ AutoD-1ベースHS※4		
		AutoD-1ベースHS		100
		Autoウレタン硬化剤		CC1 配合量に対し 4:1
		AutoウレタンシンナーECO		80~100
		★ AutoVトップモナークExcellent※5		
AutoVトップモナークExcellent	100			
Autoウレタン硬化剤	25			
AutoウレタンシンナーECO	80~100			
8	トップコート クリヤー	ブロック塗装を参照	ブロック塗装を参照	

※1… Autoワックスクリーナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※2… 別紙カタログをご参照下さい。

※3… Autoウレタンシンナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※4… 塗料種別の別紙カタログをご参照下さい。

※5… 別紙カタログをご参照下さい。

※6… 別紙カタログをご参照下さい。